

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 南山す、桐原、本上
2. 山城／ルート 比良・堂満岳（中央稜～第1ルンゼ）
3. 交通手段 車
4. 行動記 <入山日 2017年2月11日>

1日目		到着	出発
<b>S</b>	天然温泉比良とびあ		7:31
	イン谷口	8:10	8:10
	大山口	8:48	8:49
	堂満岳	16:13	16:27
	大山口	17:32	17:34
	イン谷口	17:52	17:52
	天然温泉比良とびあ	18:24	

## 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし

## 6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

昨日の大雪で志賀バイパスの比良ランプを出たところからイン谷口への道路は完全に雪で埋まっており、高架下は放置されたと思われる車両が数台止められていた。仕方ないので「日帰り温泉比良とびあ」に止めさせていただく。温泉駐車場も雪で埋まっていてわだちも無かったが強引に突っ込む。

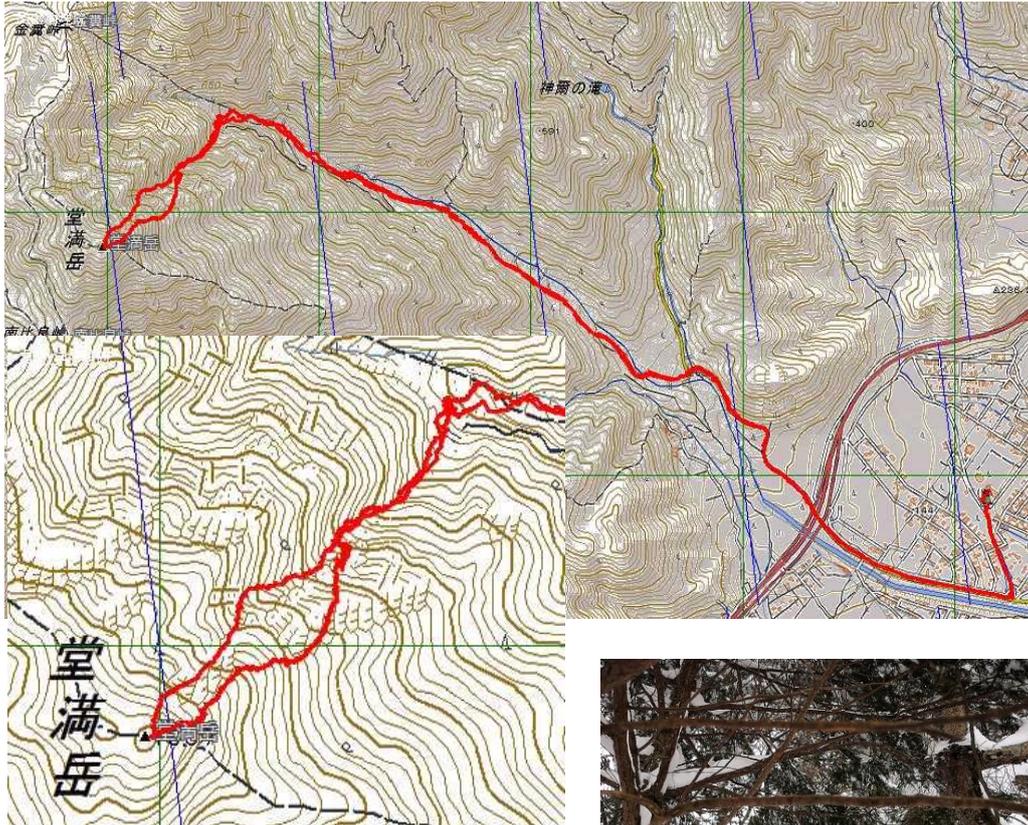
金糞峠方面へは真新しいトレースが付けられていたが、柔らかい雪に足を取られ堂満ルンゼ出会まで2時間以上かかってしまった。アイゼンなどの装備を装着、本日もルンゼにはトレースが付けられていた。

先月のルンゼを上った時は中央稜取付付近の7mの滝はそれなりに判断できたが、今日は完璧に雪に埋もれており見分けが付かない。適当なところから中央稜に取り付くが雪面を切り崩しながらの猛烈なラッセルになる。稜線に出てもラッセルでなかなか進まない。通常2ピッチ目と思われる岩のところまでロープを出して突破する。その後もラッセルが延々と続き、記録の写真で見ると感じるような感じは全く無く、全て雪に埋もれていた。はたして本当に中央稜だったのか・・・はっきりしない。

山頂に続く尾根らしきところからはさらに強烈なラッセルが続き、山頂が見えて来ているのになかなか近づかない。大幅に遅れての到着（時間的にはぎりぎり）山頂でも膝以上潜り込み休憩どころではないが、登りだしてから何も食べていないので補給する。

最短の第1ルンゼを下降する。山頂直下のブッシュ帯の急斜面、ルンゼの急斜面も慎重に下りながら堰堤まであつという間に下る。

○GPS 軌跡 ↓



報告者氏名 南山房啓 2017年2月12日